

特集

愛知県では 交通事故が多発しています

5月14日現在、愛知県では46名の方が交通事故で亡くなっています。

本年の都道府県別事故死者数は全国で3位という順位ですが、愛知県は、過去16年連続ワーストワンという不名誉な記録を更新し続けています。一瞬にして尊い命を奪い、平和な暮らしを破壊する交通事故をなくすことは、私たち愛知県民の切実な願いです。しかしながら、多くの人々の努力にもかかわらず、交通ルールの違反やマナーの低下などを原因とする悲惨な交通事故は後を絶ちません。また、高齢者が事故死者数の約半数を占めているほか、交差点における事故やシートベルト非着用による死亡事故が高い割合で推移するなど、依然として厳しい状況が続いております。

都道府県別 事故死者数(年間)

1位	千葉	56人
2位	埼玉	49人
3位	大阪	46人
3位	愛知	46人
5位	東京	45人

(令和元年5月14日現在)

スローガン

ストップ・ザ・交通事故 ～高めようモラル 守ろうルール～



【サブスローガン】

広めよう交通安全スリーS運動

交通安全スリーS運動を展開して「思いやり」の輪を広げよう！

ストップ

赤信号はストップ、一時停止場所でストップ、飲酒運転をストップ

スロー

高齢者や子どもを見たら速度をスロー

スマート

運転中の携帯電話や急発進・空ぶかしをしないスマートな運転



※()内は、前年比(平成31年3月末現在)

		合計	死亡	重傷	軽傷
飛島村	件数	25 (－ 4)	0 (－ 2)	0 (－ 1)	25 (－ 1)
	人数	29 (－ 8)	0 (－ 2)	0 (－ 1)	29 (－ 5)
弥富市	件数	43 (－ 11)	0 (0)	1 (0)	42 (－ 11)
	人数	58 (－ 6)	0 (0)	1 (0)	57 (－ 6)
蟹江町	件数	61 (+ 13)	0 (0)	2 (+ 1)	59 (+ 12)
	人数	78 (+ 4)	0 (0)	2 (+ 1)	76 (+ 3)

後部座席もシートベルトを必ず着用しましょう

平成30年シートベルト着用状況調査結果

区分		着用率	前年比
一般道	運転席	98.8%	+0.2
	助手席	95.9%	-0.7
	後部座席	38.0%	-1.6
高速道路	運転席	99.6%	+0.1
	助手席	98.5%	+0.2
	後部座席	74.2%	-0.2

シートベルト着用状況全国調査 警察庁／JAF
(平成30年10月実施)

まだまだ低い、シートベルト着用率

平成30年10月に実施された調査によると、愛知県の後部座席同乗者のシートベルト着用率は、一般道38.0%、高速道路74.2%と運転席・助手席に比べてまだまだ着用意識が低い状況にあります。特に高速道路での着用率は、道路交通法が改正され全席着用が義務化された平成20年と比較して、2%低下しています。

後部座席でのシートベルト非着用時の死亡率は、着用の場合の **約3倍!**

シートベルト、正しく着用していますか?

シートベルト安全利用チェックシート

- ☐ シートには深く腰掛けていますか。
- ☐ ヘッドレストは頭頂部の高さに合わせていますか。
- ☐ 肩ベルトは首やあごにかからず、肩の中央部を通っていますか。
- ☐ ベルトがねじれていませんか。
- ☐ 腰ベルトは骨盤を巻くようにしていますか。
- ☐ バックルはカチッと音がするまで差し込んでいますか。



横断中の交通事故が多発

子どももお年寄りも

手をあげて渡ろう!

ハンド・アップ運動



歩行者は、道路を横断するときには手をあげ、ドライバーに横断することをアピールしましょう。



ドライバーは、手をあげている歩行者を見かけたら、思いやりの気持ちを持って、横断者の手前で止まりましょう。



ドライバーには、目と目を合わせ、感謝の気持ちを伝えましょう。

